

# 平成29年度 推薦入試合否判定基準

## 【1】合否判定基準

自己表現・個性表現の内容が次に該当する場合とする。

### 1. 自己表現

ランク	活動歴	実績
I	県レベル、生徒会長	県代表レベル
II	市町村レベル、生徒会	市町村代表レベル
III	学校レベル、部長	学校代表レベル

### 2. 個性表現

各分野の内容、具体的表現方法を通して、生徒の個性や優れた面を積極的に評価しランク付けをする。  
(自己表現の各ランク内容と比較する)

## 【2】推薦項目のランク付け

### 1. 自己表現

#### (1) スポーツ

ランク	活動歴	実績
I	・県代表レベル (県代表の一員として参加)	・県代表レベル 県大会団体戦：準優勝以上 県大会個人戦：ベスト4以上
II	・市町村レベル、	・市町村代表レベル 県大会団体戦：ベスト4 地区大会団体戦：準優勝以上 地区大会個人戦：ベスト4以上
III	・学校レベル、部長 (部長としてのリーダー性と技量が認められる)	・学校代表レベル

#### (2) 文化活動

ランク	活動歴	実績
I	・県代表の一員として参加 ・生徒会長および生徒会副会長	・県代表または優秀賞 ・生徒会活動で目立つ成果を残した
II	・生徒会執行部	・地区代表
III	・部長、HR長または学級で顕著な活動	・学校代表

#### (3) 社会活動

ランク	活動歴	実績
I	・継続的で組織のリーダーで通じた	・全県的活動、ボーイスカウト(菊スカウト)
II	・地域での継続的な活動	・市町村での活動
III	・短期的な活動	

#### (4) ボランティア活動

ランク	活動歴	実績
I	・計画的で組織のリーダーで通じた	・県レベルの表彰
II	・学校生活、地域での継続的な活動	・法人組織や市町村レベルの表彰
III	・短期的な活動、学級での活動	

#### (5) 資格取得

ランク	活動歴	実績
I		・英検・漢検・数検2級以上
II		・英検・漢検・数検準2級
III		・英検・漢検・数検3級以下など

(6) ランク外は設定しない(ランクⅠ・Ⅱに該当しないものはランクⅢとみなす)

## 2. 個性表現

(1)～(4)の各分野の内容・表現方法等を総合的に判断して、**原則ランクⅢ**に位置づける。

- (1) 音楽、美術及び書道などの芸術分野
- (2) 文芸及び研究などの分野
- (3) 舞踊、創作ダンス及び手話などの身体的活動を伴う分野
- (4) 留学などの体験的活動を伴う分野

## 【3】特記事項及び、欠格事項の設定

1. 特記事項・・・(1) 三カ年皆出席者
2. 欠格事項・・・(1) 全体の評定平均値が3.0未満、または評定『1』をもつ者  
(2) 遅刻・無届欠課・無届欠席のいずれかが、各学年6回以上ある者  
(3) 行動の記録で特に問題のある者  
(面接結果がCの者、所見欄にマイナス面の記載がある者も問題とする)

## 【4】実技試験について

1. 個性表現出願者には実技試験を実施し、原則ランクⅢとする。
2. 実技試験は推薦分野についての試験を実施する。
3. 特別枠受検者の実技試験の結果は推薦入試特別枠の判定に利用する。